

鳥取縣公報

縣 令

第六百三十四號

昭和十年六月二十一日

金 曜 日

◇鳥取縣令第二十一號

青年學校令施行細則左ノ通定ム

昭和十年六月二十一日

鳥取縣知事 中 谷 秀

青 年 學 校 令 施 行 細 則

第 一 章 設 置 及 廢 止

第 一 條 青 年 學 校 設 置 認 可 申 請 書 ニ ハ 青 年 學 校 規 程 (以 下 單 ニ 規 程 ト 稱 ス) 第 一 條 第 一 項 各 號
ノ 外 左 ノ 事 項 ヲ 具 ス ベ シ

一 學 級 編 制 表

- 二 職員數(職員種別專任兼任ノ別)俸給又ハ手當額
 - 三 設置ノ議決書寫
 - 四 收支豫算書
 - 五 設置區域内ニ於ケル實業ノ狀況
- 前項各號ノ外市町村學校組合、町村學校組合ノ設置ニ係ルモノニ在リテハ組合規約ヲ、商工會議所、農會其ノ他之ニ準ズベキ公共團體ノ設置ニ係ルモノニ在リテハ定款又ハ會則等ヲ、私人ノ設置ニ係ルモノニ在リテハ設置者ノ履歷書、定款又ハ寄附行爲ヲ添附スルヲ要ス
- 第二條 青年學校設置者ノ變更認可申請ニハ前條ノ規程ヲ準用シ新舊設置者ノ連署ヲ要ス
 - 第三條 青年學校廢止認可申請書ニハ規程第二條ニ規程スルモノノ外廢止ノ議決書寫廢止豫定期日ヲ具スベシ
 - 第四條 青年學校ニシテ分教場ヲ設置又ハ廢止セントスルトキハ知事ノ認可ヲ受クベシ
- 分教場設置ノ認可申請ニハ第一條第一項ノ規程ヲ準用シ且設置ノ事由ヲ詳記スベシ
- 分教場ノ認可申請ニハ第三條ノ規程ヲ準用ス

第二章 名 稱

- 第五條 青年學校令ニ依ル學校ハ青年學校ノ文字ヲ附シ公立ニ在リテハ其ノ設置者名ヲ私立ニ在リテハ私立ノ文字ヲ冠スベシ
- 第三章 課程、教授及訓練
- 第六條 青年學校令第七條第二項但書ニ依リ本科ノ教授及訓練期間ヲ短縮スル場合ニ在リテハ研究科ノ教授及訓練期間ハ二年以上トナスベシ
 - 第七條 青年學校令附則第二項ニ依ル認可申請書ニハ左ノ事項ヲ具スベシ
 - 一 各年ノ教授及訓練科目時數
 - 二 教授及訓練ノ時刻及季節
 - 三 學級編制及職員組織
 - 四 其ノ他必要ト認ムル事項
 - 第八條 專修科ノ教授及訓練期間ハ三月以上一年以内トス
- 普通科、本科又ハ研究科ノ生徒ハ同時ニ專修科ノ課程ヲ兼修スルコトヲ得
- 專修科ノ專修項目、教授及訓練期間ニ就キテハ知事ニ開申スベシ
- 第九條 青年學校ニ於テハ本科又ハ研究科ニ就キ教授及訓練期間ヲ異ニスルニ以上ノ科ヲ併置

スルコトヲ得

第十條 青年學校ノ科ノ課程ヲ教授及訓練時數、職業科ノ種別等ヲ異ニスルニ以上ノ部ニ區分スルコトヲ得

第十一條 青年學校ニ於ケル講習ノ期間ハ三月以內トシ之ヲ實施シタル場合ハ其ノ科目、時間數、講師、講習員數、其ノ他參考事項ヲ其ノ都度知事ニ開申スベシ

第十二條 普通學科ハ國語、歴史、地理、數學、理科、音樂等ニ關スル事項ヲ綜合シテ一科目トシ土地ノ情況ニ應ジ適切ナル事項ヲ授クルモノトス

職業科ハ農業、水産、工業、商業等ニツキ土地ノ情況ニ應ジ適切ナル事項ヲ授クルモノトス
教練科ニハ適宜武道及競技ヲ加フルコトヲ得

第十三條 青年學校ノ教科書ヲ定メ又ハ之ガ變更ヲ爲サントスルトキハ學校長ハ豫メ其ノ事由ヲ具シ左表ヲ添附シテ知事ニ開申スベシ但シ知事ニ於テ教科書ノ認定ヲ爲シタル圖書ヲ使用スル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

教授及訓練科目

圖書名

卷冊

發行年月日

定價

著作者

發行者

備

考

第四章 入退學、轉學並委託

第十四條 普通科及本科ノ第一年ニ入學スルコトヲ得ル者ノ年齢ハ其ノ年三月三十一日ニ於テ普通科ニ在リテハ十二年以上、本科ニ在リテハ十四年以上トス

普通科第二年並本科及研究科第二年以上ノ入學ニ關シテハ年齢ヲ基準トシ其ノ素養ヲ斟酌シテ相當年ニ編入スルヲ常例トス

專修科ニ入學シ得ル者ハ年齢二十五歳未滿ニシテ青年學校長ニ於テ適當ト認メタル者トス

第十五條 居住所移轉等特別ノ事由ニ由リ他ノ青年學校ニ轉學ヲ志望スル生徒アルトキハ學校長ハ其ノ生徒ノ學籍簿寫ヲ移轉先青年學校ニ送付スベシ
轉學ノ場合ニハ相當科ノ相當年ニ編入スルモノトス但シ課程ノ程度ノ相違等ノ事情ニ依リ編入ノ年ニ就キ斟酌ヲ加フルコトヲ得

第十六條 規程第十四條ニ定ムル教授及訓練ノ委託ハ生徒ニシテ生業其ノ他已ムヲ得ザル事由ニ由リ他ノ地方概ネ一月以上三月迄ノ期間ニ互リ滯留セントスル者アル場合ニ之ヲ爲スモノトス

前項ノ場合青年學校長ハ委託ノ旨ヲ記載シタル書類ヲ滯留地ノ青年學校長ニ送付シ且當該生徒ノ青年學校手帳ニ出席情況其ノ他必要ナル事項ヲ記入證明スベシ
青年學校長生徒ノ委託ヲ承諾シタルトキハ其ノ旨ヲ記載シタル書類ヲ在籍學校ノ學校長ニ送付シ當該生徒ニシテ委託期間終了シタルトキハ其ノ出席情況其ノ他必要ナル事項ヲ記載シタル書類ヲ在籍青年學校長ニ送付シ且當該生徒ノ青年學校手帳ニ出席時數其ノ他必要ナル事項ヲ記入證明スベシ

委託ヲ受ケタル學校ニ於テ當該生徒ニ爲シタル教授及訓練ハ當該生徒ノ在籍學校ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第十七條 青年學校ヲ退學セントスル者ニ對シテハ學校長ハ當該學校ニ於テ本人ノ受ケタル教授及訓練時數退學年月日其ノ他必要事項ヲ學籍簿ニ記入シ且青年學校手帳ニ記入捺印シテ之ヲ證明スベシ

第五章 修了並卒業

第十八條 普通科、研究科ノ修了及本科ノ卒業ハ全課程ニ就キ出席時數其ノ他平素ノ學修情況ニ依リ之ヲ認定スベシ

第十九條 普通科又ハ本科ニ於ケル出席時數規程第八條ノ第一號表乃至第四號表ニ示ス各教授及訓練科目ノ各當該料總時數(男子本科ニ在リテハ普通學科及職業科ノ時數ハ之ヲ通算ス)ノ八割ニ達セザル者ニ對シテハ修了又ハ卒業ヲ認定スルコトヲ得ズ
中途入學者轉學者ニ關シテハ前項ノ總時數ハ入學シタル時期ヲ基準トシテ其ノ以後ニ配當シタル時數ニ依ルモノトス

第二十條 青年學校ノ修了證ハ第一號様式ニ依リ卒業證ハ第二號様式ニ依ル專修科ノ專修項目ヲ履修シタル者ニハ第三號様式ノ修了證ヲ授與スベシ

第六章 編制

第二十一條 青年學校ニアリテハ男女各別ニ學級ヲ編制スベシ
一 學級ノ生徒數ハ五十人ヲ超過スルヲ得ズ

特別ノ事由ニ因リテ前項ノ制限ニ依リ難キ場合ハ其ノ事由ヲ具シ知事ノ認可ヲ受クベシ

第七章 職員

第二十二條 青年學校ノ專任教員トハ左ニ掲グル者ヲ謂フ

- 一 公立青年學校ノ教諭又ハ助教諭ニシテ專任ノ者

二 公立青年學校ノ專任學校長ニシテ教諭助教諭ニ兼任セラレタル者

三 前二號以外ノ公立青年學校ノ教員又ハ私立青年學校ノ教員ニシテ當該學校ノ教員タルコトヲ以テ本務トシ且手當又ハ給料月額四十圓以上ヲ支給セラルル者

第二十三條 青年學校ノ專任教員數ハ少クトモ男女各都ニ一人以上タルベシ

青年學校令附則第三項ニ依ル認可申請ニハ其ノ事由及猶豫期限ヲ具スベシ

第二十四條 青年學校教員ノ資格ヲ有セザル教員ノ數ハ之ヲ有スル教員ノ數ヲ超過スルコトヲ得ズ

第二十五條 私立青年學校ニ於テ青年學校ノ教員タルコトヲ得ル資格ヲ有スル者ヲ教員トシテ採用セントスルトキハ其ノ年月日、職名、氏名、俸給又ハ手當額、擔任科目、履歷書及身體檢查書ヲ具シ知事ニ開申スベシ

私立青年學校ニ於テ青年學校ノ教員タルコトヲ得ル資格ヲ有セザル者ヲ教員トシテ採用セントスルトキハ前項ニ規定セル事項ヲ具シ知事ニ稟請シ認可ヲ受クベシ

前項ノ認可ハ當該學校在職期間有效トス

私立青年學校ニ於テ學校長又ハ教員ヲ解職シタルトキハソノ年月日、事由ヲ具シ知事ニ開申スベシ

第二十六條 私立青年學校教員ノ名稱ハ公立青年學校ニ準ジ教諭、助教諭、指導員等ノ名稱ヲ用フベシ

第二十七條 特別ノ必要アルトキハ知事ハ青年學校教員資格規程ニ依リ適當ト認ムル者ニ講師トシテ公立青年學校ノ教授及訓練ヲ囑託スルコトアルベシ

第二十八條 青年學校ノ教員トシテ兼任セラレタル者及指導員ニハ手當ヲ給スベシ

第二十九條 青年學校ノ職員公務ノ爲出張シタルトキハ旅費ヲ給スベシ

第八章 委員

第三十條 青年學校ニハ青年學校委員ヲ置クコトヲ得

青年學校委員ノ任期ハ四年トシ設置者ニ於テ之ヲ囑託ス

青年學校委員ヲ囑託シタル場合ハ其ノ年月日及住所、氏名ヲ知事ニ開申スベシ

青年學校委員ハ就學出席ノ督勵ニ當リ設置者ノ諮問ニ應ジ意見ヲ答申スルノ外青年學校教育ノ振興ニ關シ援助ニ任ズルモノトス

第九章 雜則

第三十一條 青年學校令第十四條但書ニ依ル授業料ノ徵收ノ認可申請書ニハ月割金額、期間、事由ヲ具シ歳入歳出經費豫算書ヲ添附スベシ

第三十二條 青年學校ニハ左ノ帳簿ヲ備フベシ

- 一 學籍簿
- 二 青年學校ニ關スル規程並例規綴
- 三 沿革又ハ重要事項錄
- 四 教授及訓練細目(實習指導計劃、教練指導計劃ヲ含ム)
- 五 職員名簿及履歷書綴
- 六 資産、圖書及備品臺帳
- 七 指示事項錄
- 八 修了及卒業者名簿
- 九 生徒出席簿
- 十 生徒委託關係簿
- 十一 職員出勤簿
- 十二 教授及訓練計劃表
- 十三 日誌

- 十四 成績考查簿及身體檢查票
 - 十五 諸統計綴
 - 十六 往復文書綴
 - 十七 實習ニ關スル諸帳簿
 - 十八 其ノ他必要ト認ムル帳簿
- 前項第一號乃至第八號ハ永久、第九號ハ十年其ノ他ハ五年以上保存スベシ
- 第三十三條 私立青年學校ヨリ知事ニ提出スル書類ハ當該青年學校所在地ノ市町村長ヲ經由スベシ

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第一號 様式

第二號 様式

第 號

修了證

氏名 年月日生

右者本校普通科ノ課程ヲ修了シタルコトヲ證ス
(研究科)

校 年
月 日
印

鳥取縣何郡(市)
何町村(何)青年學校長位勳氏名

印

校長名送ヲ一列トスルコト

第 號

卒業證

氏名 年月日生

右者本校本科ノ課程ヲ卒業シタルコトヲ證ス

校 年
月 日
印

鳥取縣何郡(市)
何町村(何)青年學校長位勳氏名

印

第三號 様式

第 號

修了證

氏名 年月日生

右者本校專修科ニ於テ頭書ノ項日ヲ履修セシコトヲ證ス

鳥取縣何郡(市) 年 月 日 校 印

何町村(何)青年學校長位勳氏名

第 號

修了證

氏名 年月日生

一 專修項目 自 年 月 日

一 專修期間 至 年 月 日

◆鳥取縣令第二十二號

大正十年^四月鳥取縣令第三十一號鳥取縣實業補習學校教員養成所規程ヲ鳥取縣立青年學校教員養成所規程ニ、同規程中「實業補習學校」ヲ「青年學校」ニ改メ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十年六月二十一日

鳥取縣知事 中 谷 秀

◇鳥取縣令第二十三號

大正三年^三月鳥取縣令第十二號小學校令施行細則第六十六條第二項前段ノ規定ハ小學校專科正教員及尋常小學校本科正教員ノ無試験檢定ヲ出願スル鳥取縣立青年學校教員養成所卒業者ニ對シ之ヲ適用セズ

大正八年^三月鳥取縣令第十三號ハ之ヲ廢止ス

昭和十年六月二十一日

鳥取縣知事 中 谷 秀

◇鳥取縣令第二十四號

大正十四年^四月鳥取縣令第三十號實業補習學校ニ關スル規程ハ之ヲ廢止ス

昭和十年六月二十一日

鳥取縣知事 中 谷 秀

◇鳥取縣令第二十五號

明治四十一年^七月鳥取縣令第三十三號公立實業補習學校教員資格ニ關スル規程ニ依ル教員數ノ件ハ之

ヲ廢止ス

昭和十年六月二十一日

鳥取縣知事 中 谷 秀

◇鳥取縣令第二十六號

昭和三年^六月鳥取縣令第四十六號青年訓練所令施行細則ハ之ヲ廢止ス

昭和十年六月二十一日

鳥取縣知事 中 谷 秀

◇鳥取縣令第二十七號

大正十一年^四月鳥取縣令第二十二號學校醫ノ設置並給與規程中左ノ通改正シ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十年六月二十一日

鳥取縣知事 中 谷 秀

第十一條中「及青年訓練所醫」ヲ削ル

◇鳥取縣令第二十八號

大正十五年^七月鳥取縣令第百一十一號市町村長委任事項中左ノ通改正ス

昭和十年六月二十一日

鳥取縣知事 中 谷 秀

市長委任事項第九號中「並實業補習學校」ヲ削ル

訓 令

鳥取縣訓令甲第十一號

市 町 村 長
青 年 學 校 長

昭昭十年四月一日勅令第四十一號ヲ以テ青年學校令公布セラレ同日文部省令第四號ヲ以テ青年學校規程公布セラレ又昭和十年六月二十一日鳥取縣令第二十一號ヲ以テ青年學校令施行細則ヲ制定セリ蓋シ青年學校ノ新設ハ時代ノ趨勢ニ鑑ミ從前ノ實業補習學校及青年訓練所兩者ノ特質ヲ採入レ之ヲ統合シテ單一ナル青年教育機關ト爲シ其ノ施設經營ノ努力ヲ一ニ集中シ以テ青年教育ノ進展ヲ期セントスル趣旨ニ依ルモノニシテ我が國青年教育史上ニ特筆セラルベキ劃期的革新ナリト謂ハザルベカラズ

惟フニ青年學校ハ社會ノ實務ニ從事スル男女大衆青年ニ對シ普ク教育ノ機會ヲ與フルト共ニ青年教育ニ最モ重要ナル時期ニ於テ其ノ教養ニ間隙ナカラシメンコトヲ期スルモノニシテ其ノ本旨トスル所ハ心身ヲ鍛鍊シ徳性ヲ涵養スルト共ニ職業其他實生活ニ須要ナル知識技能ヲ授クルヲ主眼トシテ教授及訓練ヲ爲シ以テ健全ナル國民善良ナル公民タルノ素地ヲ育成スルニ在リ而シテ此等男女青年ハ概ネ業務ノ餘暇ニ於テ修學スルモノナルニ付學校ノ組織内容ハ通常ノ學校ニ比シテ著シク簡易且由ヲ旨トシ以テ地方ノ情況青年ノ境遇等ニ適應セシムルモノトス今ヤ我國内外ノ情勢極メテ重大ニ

國力ノ培養ヲ圖ルノ要將ニ急ナルノ秋一國青年ノ教養ヲ高メ文化ノ進展産業ノ振興ニ寄與セシムルハ蓋シ刻下喫緊ノ要務ニシテ本縣ノ實情ニ鑑ミ更ニ痛切ナルモノアリ

茲ニ於テ本制度實施上特ニ留意スベキ事項ノ大要ヲ左ニ示シ別ニ青年學校施設要綱並ニ學則標準ヲ定メ將來準備スベキ所ヲ明ニセリ市町村長、青年學校長ハ宜シク叙上ノ趣旨ヲ體シ地方ノ實情ニ稽ヘ關係各方面ト十分協力シ一般縣民ニ對シテ趣旨ノ普及ヲ圖リ本制度實施上遺憾ナキヲ期シ成果ヲ收ムルニ努ムベシ

一 學校ノ設置及設備ニ關スル事項

本縣ニ於ケル從前ノ實業補習學校及青年訓練所ハ縣下各市町村ニ遍ク猶私人ニ於テモ之ガ設置ヲ爲ス者アリテ其普及觀ルベキモノアリ設備亦年ヲ逐フテ充實シツツアリシニ願ミ各市町村共相當數ノ學校ヲ設置セラルベキハ些ノ疑ノ存セザルトコロニシテ私人等ニ在リテモ本制度ノ趣旨ヲ理解シ進ンデ設置ヲ圖ルベキヲ信ズルモ其ノ公立タルト私立タルト問ハズ設備ノ充實ニ關シテハ一段ノ意ヲ用ヒテ青年教育ノ擴充ヲ期スベシ

二 課程並教授及訓練期間ニ關スル事項

青年學校ニハ普通科及本科ヲ置クノ外事情ノ許ス限り研究科ヲ置キ此等ノ課程ヲ通ジテ教養ノ充實ヲ期スベク各科ノ教授及訓練期間ニ就キテハ男女青年ヲシテ二十年ニ達スル迄教育ヲ繼續スルノ本旨ト、從前ノ本縣ニ於ケル實業補習學校及青年訓練所ノ實情ニ鑑ミ本科ノ男子ニ在リテハ五年、女子ニ在リテハ三年ト規定シタルヲ以テ此ノ主旨ヲ體シ之ガ勵行ヲ期スベシ

三 教授及訓練ニ關スル事項

青年學校ノ教授及訓練科目ハ青年教育上須要ナル事項ニ就キ概括的ニ區分セラレタルモノナレ

バ其ノ内容ニ就キテハ各市町村ノ情况ニ應ジテ最モ適切ナル事項ヲ選擇シテ之ヲ課スベク徒ニ理論ニ偏スルコトナク實際的素養ノ啓培ヲ旨トシ各科目相互ノ聯絡裨補ニ力メ以テ男女青年ノ實際生活ニ適應セシコトヲ期スベク特ニ普通學科ノ取扱ニ關シテハ教授及訓練事項ヲ綜合的ニ取扱フ趣旨ニ鑑ミ充分ノ研究ヲ爲スヲ要ス又教授及訓練時數ニ就テハ從前ノ實業補習教育ノ實績ニ顧ミ一層其ノ成績ヲ向上スベキヲ目標トシテ示シタルモノナレバ蓋ニ其ノ低下ヲ來スガ如キコトナキヲ期スベシ

四 專任教員ニ關スル事項

青年學校ニ於ケル教育ノ振作ハ一ニ懸ツテ生徒ノ教育専心スベキ教員ノ人格ト努力ニ在ルヤ言フ俟タザルトコロニシテ各青年學校ニ置クベキ專任教員ノ定數ニ關スル規定ノ勵行ニ當リテハ市町村等ノ財政ノ情况ヲ考慮スベキハ勿論ナルモ青年教育諸機關中最モ重要ナル本施設ノ使命ヲ確認シ格段ノ意ヲ用ヒテ之ガ實現ヲ期スベシ

五 青年學校ト市町村社會教育ニ關スル事項

青年學校ニ於テハ其ノ生徒ニ對スル教育ノ外進ンデ一般市町村民ノ教育教化ニ意ヲ致シ其ノ土地ニ於ケル民度ノ向上並産業ノ開發ニ資スルト共ニ各市町村文化ノ中心トナリ社會教育ノ中樞機關タルコトヲ期スベシ

六 青年團體等トノ關係ニ關スル事項

從來ノ青年訓練所ニ於テハ教練ノ指導等ニ就キ在郷軍人ノ努力ニ俟ツモノ多ク實業補習學校ト共ニ市町村當局ノ努力、市町村内各種團體トノ聯繫其ノ他一般市町村民ノ後援ニ依リ其ノ實績ヲ收メ來リシガ青年學校ニ於テモ亦其ノ努力ニ俟ツモノ甚ダ多シ殊ニ青年團、處女會トノ關係ニ

就キテハ此等ノ重要ナル教養機關トシテ相互ノ聯絡ヲ最モ密接ナラシメ兩者相提携シテ其ノ發達ヲ期スベシ
昭和十年六月二十一日 鳥取縣知事 中 谷 秀

青年學校施設要綱

第一 設置

- 一 町村ニ在リテハ一町村一校ヲ常例トシ市ニ在リテハ一校以上ノ青年學校ヲ設置スルコト
- 分教場ハ交通、職業等ノ關係上必要アル場合ニ之ヲ設クルコト
- 二 青年學校ヲ設置スルコトヲ得ル私人ハ個人及營利ヲ目的トセザル私法人(社團又ハ財團)タルコト
- 三 會社、工場等多數ノ男女青年ヲ雇傭セル場所ニ在テハ其ノ設備ヲ利用スル等適宜ノ方法ニ依リ其ノ業務ニ從事スル青年男女ノ修學ニ適スル青年學校ノ設置ニ努メシムルコト
- 此ノ場合當該會社、工場等ノ從中青年以外ノ志望者ニモ就學ノ便ヲ得セシムルコト

第二 名稱

- 一 青年學校ノ名稱ハ左ノ例ニ準ジテ之ヲ定ムルコト
- 一 公立 鳥取縣何郡(市)何町村(何)青年學校
鳥取縣何郡(市)何立何青年學校
鳥取縣何郡(市)公立青年學校何專修學校
- 二 私立 私立何青年學校

三 女子ノミノ青年學校ニ在リテハ青年學校ノ上ニ女子ノ文字ヲ冠スルコト

第三 設 備

一 青年學校ニハ概ネ左ノ設備ヲ爲スコト
普通教室、特別教室、職員室、銃器室、體操場、實習場、作業場、教練及體操用具、圖書、器具、機械、標本、模型、藥品、竝教練、體操及實習ニ關スル適當ノ設備

二 併設ノ場合ト雖專用教室ノ設置ニ努ムルコト

三 夜間ニ於テ教授及訓練ヲ爲ス青年學校ニ在リテハ照明設備並冬季ニ於ケル暖房裝置ヲ充分ナラシムルコト

四 實習地及作業場ハ他ノ學校、實業團體又ハ男女青年團體等ト連絡シテ共同ニ施設スルコトヲ得ルコト

五 農業科ヲ學習スル生徒ニハ家庭ニ於テモ可成實習地ヲ設クル等其ノ實習ニ努メシムルコト

第四 編 制

一 一學級ノ生徒數ハ普通科ニ在リテハ五十人以内、本科、研究科ニ在リテハ四十人以内ヲ標準トスルコト

二 男子本科ニ在リテハ下級年ト上級年トハ學級ヲ別トスルヲ可トス

第五 教授及訓練日時數及時期

一 教授及訓練日時數ハ業繁期ヲ除キ毎月相當數ニ達セシムルコト

二 教授及訓練時數ハ一箇年ニ付左ノ標準ニ依リ學校長ニ於テ適宜定ムルコト但シ特別ノ事情アルトキハ青年學校規程第八條ノ規程ニ依ル最低時數迄ニ減ズルコトヲ得

男子部

農業又ハ水産ニ關スル職業科ヲ有スル學校

普通科二百五十時以上 本科第三年迄二百五十時以上 本科第四年以降研究科二百時以上

工業又ハ商業ニ關スル職業科ヲ有スル學校

普通科三百五十時以上 本科第三年迄三百五十時以上 本科第四年以降研究科二百時以上

女子部

普通科三百時以上、本科三百時以上、研究科三百時以上

職業科ノ實習ハ本時間外ニ於テ不定トス

三 教授及訓練ノ時刻ハ晝間ヲ本體トスルコト但シ土地ノ情況ニ依リ早朝、夕刻又ハ夜間ニ教授及訓練シ得ルコト

第六 課程、教授及訓練

一 普通科ノミヲ置クコトヲ得ルハ市町村等ノ設置區域内ニ於テ本科入學該當者ガ僅少ナル場合又ハ別ニ本科ヲ置ク青年學校ノ存スル場合、高等小學校等ニ入學セザル者ノ爲普通科ノ課程ノ比較的充實シタルモノヲ置ク必要アル場合等トス

二 本科ノミヲ置クコトヲ得ルハ市町村等ノ區域内ニ於テ普通科入學該當者ガ僅少ナル場合等トス
三 本科ノ教授及訓練期間ヲ男子四年、女子二年トナシ得ルハ職業ノ移動等ノ事情ニ依リ男子五年、女子三年ニ互リテ教育ヲ繼續スルコト困難トスル者多キ場合トス

四 專修科ノ專修項目ハ珠算、筆記、速記、タイプライター、英語、製圖、家具、塗工、園藝、養蠶、手藝、洗染、割烹其ノ他主トシテ職業ニ關スル特別ノ事項トスルコト

五 各科目ノ教授及訓練ノ程度及時數等ハ別表ニ準據スルコト

但シ全日通年制度及之ニ類スル青年學校在リテハ之ヲ定ムルコト

第七 入學及出席

- 一 尋常小學校ノ教科ヲ卒ヘ若ハ學齡ヲ了リタル日ノ翌日ヨリ男子ハ滿二十年女子ハ滿十八年ニ達スル年ノ三月三十一日迄ヲ青年學校適齡トス
- 二 市町村長ハ青年學校適齡ニ在ル者ニシテ他ノ學校ニ在學セザル者ヲ義務教育ニ準ジテ入學セシムルコト但シ中學校、高等女學校又ハ之ト同等以上ノ學校ヲ卒業シタル者ハ此ノ限ニ在ラズ
- 三 市町村長ハ現ニ其ノ市町村ニ居住シ新ニ青年學校ニ入ルベキ者ヲ調査シ二月末日迄ニ青年學校適齡簿(第一號様式)ヲ調製シ其ノ親權者、後見人又ハ雇傭者ニ對シ之レガ入學ヲ督勵スルト共ニ青年學校長ニ通知スルコト
- 青年學校適齡簿調製後青年學校ニ入學スベキ者ニ異動ヲ生ジタルトキハ市町村長ハ遲滞ナク之ヲ處理スルコト
- 四 青年學校長ハ入學者ノ學籍簿ヲ調製シ且其ノ氏名ヲ市町村長ニ通知スルコト
- 五 男子ニ就キ中學校、尋常小學校卒業程度ヲ入學資格トスル修業年限五年ノ實業學校又ハ之ト同等以上ノ學校ノ各學年修了者又ハ卒業者ヲ青年學校ノ本科及研究科ニ入學セシムル場合ニハ青年學校長ニ於テ左ノ例ヲ標準トシ其ノ年齢及素養ヲ斟酌シテ適宜之ヲ相當年ニ編入スルコト
- 素養トハ學歴ノミヲ標準トスル事ナク修養ノ効果、社會生活ノ體驗等ヲ包含シタル資質ヲ標準トス
- (イ) 年齢十四年以上十五年未滿ノ者ニシテ第二學年ヲ修了シタル者ハ本科第二年
- (ロ) 年齢十五年以上十六年未滿ノ者ニシテ第三學年(高等小學校卒業程度)ヲ入學資格トスル學

校ニ在リテハ第一學年)ヲ修了シタル者ハ本科ノ第三年又ハ第四年

- (ハ) 年齢十六年以上十七年未滿ノ者ニシテ第四學年(高等小學校卒業程度)ヲ入學資格トスル學校ニ在リテハ第二學年)ヲ修了シタル者ハ本科第四年又ハ第五年
- (ニ) 學校ヲ卒業シタル者ハ研究科第一年

前項以外ノ各學年ノ修了者又ハ卒業者ニ關シテモ其ノ課程ニ應ジ前項ノ例ニ準ズルコト

- 六 女子ニ就キ高等女學校、尋常小學校卒業程度ヲ入學資格トスル修業年限四年ノ實業學校又ハ之ト同等以上ノ學校ノ各學年修了者又ハ卒業者ヲ青年學校ノ本科及研究科ニ入學セシムル場合ニハ學校長ニ於テ左ノ例ヲ標準トシ其ノ年齢及素養ヲ斟酌シテ之ヲ適宜相當年ニ編入スルコト
- (イ) 年齢十四年以上十五年未滿ノ者ニシテ第二學年ヲ修了シタル者ハ本科第二年
- (ロ) 年齢十五年以上十六年未滿ノ者ニシテ第三學年(高等小學校卒業程度)ヲ入學資格トスル學校ニ在リテハ第一學年)ヲ修了シタル者ハ本科第三年又ハ研究科第一年

前項以外ノ學校ノ各學年修了者又ハ卒業者ニ關シテモ其ノ課程ノ程度ニ應ジ前項ノ例ニ準ズルコト

- 七 青年學校長ハ正當ノ事由ナクシテ引續キ缺席シタル者アルトキハ其ノ親權者、後見人又ハ雇傭者ニ對シ出席ヲ督勵シ尙缺席スル者アルトキハ其ノ旨市町村長ニ報告シ適當ノ措置ヲ爲スコト
- 八 病氣其ノ他已ムヲ得ザル事情ニ因リ所定ノ教授及訓練ヲ受クルコト能ハザル者ニ對シテハ適當ナル時期ニ於テ之ヲ補充スルコト

- 九 青年學校長ハ生徒ノ轉學ニ關シ特別ノ事情ナキ限り之ヲ許可スルコト

十 青年學校長生徒ノ委託ヲ依頼セラレタルトキハ特別ノ事情ナキ限り之ヲ承諾スルコト
十一 青年學校長ハ毎年度末卒業者、修了者ノ氏名生徒出缺席情況ヲ市町村長ニ報告スルコト

第八 職 員

- 一 青年學校ニ置クベキ專任教員ハ概ネ左ノ標準ニ依ルコト
 - 一學級ノ場合ニ在リテハ一人以上
 - 二學級ノ場合ニ在リテハ二人以上
 - 三學級以上一學級ヲ増ス毎ニ半人以上ヲ増ス
- 二 職業科擔任教員ハ專任ヲ以テ常例トスルコト
- 三 小學校ニ併置スル青年學校ノ學校長及教員ニハ當該小學校長及教員ヲ兼務セシムルヲ常例トスルコト
- 四 小學校ヨリ兼務スル教員ノ教授及訓練ノ擔任ハ一人ニ付一週三日、一日二時間ヲ超エザルヲ常例トスルコト
- 五 公立青年學校ノ指導員タル教員ハ青年學校教員資格規程ニ依リ適當ト認ムル者ニ之ヲ囑託スルコト
- 六 教練科ヲ擔任セシムル爲在郷軍人ニ指導員ヲ囑託スル場合ニハ成ルベク其ノ在營期間長ク且教育程度高キ者ヨリ之ヲ選定スルコト
- 七 青年學校ニハ學校醫ヲ置キ學校衛生ニ關スル職務ニ從事セシメ特ニ每年生徒ノ身體検査ヲ行ハシムルコト

第九 教育施設

- 一 青年學校長ハ當該市町村ノ實情ニ適切ナル學校施設要綱ヲ設定スルコト
 - 二 教授及訓練ノ材料ハ地方ノ情況ニ應ジ實際生活ニ適切ナル事項ヲ選擇スルコト
 - 三 教授及訓練ニ際シテハ輔導啓發ニ依リテ生徒ノ自發活動ヲ促進シ自學的研究心ノ涵養ニ努ムルコト
 - 四 教授及訓練ハ教室ニ於ケル直接指導ノ外、家庭實習指導、通信教授、揭示教授等適宜ノ方法ニ依リ努メテ學習ニ間斷ナカラシムルコト
 - 五 教授及訓練ハ常ニ實習實驗ヲ重ンジ實地指導ニ努メ理論ト實際トノ綜合ヲ圖ルコト
 - 六 實習ニ於テハ努メテ其ノ趣味ヲ養成シ且計劃並收支計算ヲ明ニシ實際經營上ノ資料タラシムルコト
 - 七 公民的訓練並ニ團體的訓練ヲ重ンジ特ニ規律、節制、自治、協同ノ精神ヲ涵養シ職業愛好、勤勉力行ノ美風ヲ作興スルニ努ムルコト
 - 八 養護ニ關シテハ生徒身體ノ發育ニ留意シ常ニ衛生ヲ守リ心身ヲ鍛練スルノ習慣ヲ鍛練スルノ習慣ヲ得シムルコト
 - 九 青年學校長ハ青年學校ノ修了者又ハ卒業生ヲ一般公衆ヲ對象トシテ隨時講習ヲ行ヒ國民資質ノ向上ヲ圖ルコト
- 講習會ノ講師ハ當該青年學校ノ教員ノ外青年學校長ニ於テ囑託スルコト
講習ヲ受ケタル者ニ對シテハ學校長ニ於テ講習證ヲ授與スルコトヲ得ルコト

十 生徒ノ個性環境ニ鑑ミ職業指導並卒業後ノ輔導ニ努ムルコト

第十 校外トノ連絡其他

一 青年學校委員ハ市町村名譽職、市町村吏員、學校職員、各種團體代表者、篤志者、其ノ他適當ナル者ノ中ヨリ相當員數設置者之ヲ囑託スルコト

二 職工徒弟使用人等ノ就學獎勵及就職並待遇ニ關シテハ商工會議所、商工會、銀行、會社、工場又ハ同業組合等ト連絡シテ之ガ上進ニ努ムルコト

三 教授及訓練ニ關シテハ試驗場、農會、產業組合、會社、工場等ト連絡ヲ圖リ必要ナル調査研究ニ對シ相當ノ援助ヲ求メ講習、講話、實地指導、機械標本利用、其ノ他ノ便宜ヲ得ルニ努ムルコト

四 市町村長及青年學校長ハ青年學校委員、社會教育委員並男女年團體、婦人會、在郷軍人會其他諸團體等ト密接ナル聯絡ヲ圖リ青年學校教育ノ上進ニ努ムルコト

別表

(一) 男子青年學校教授及訓練課程表

教授及訓練科目	普通科	
	第一年	第二年
教授及訓練課程	國民道德要旨、公民心得	國民道德要旨、公民心得
修身及公民科	國民道德要旨、公民心得	國民道德要旨、公民心得
普通學科	國語、歷史、地理、數學、理科、音樂	國語、歷史、地理、數學、理科、音樂

職業科	本 科	
	第一年	第二年
職業科	農(工)(商)(水産)業大要	農(工)(商)(水産)業大要
體操科	體操、競技、武道	體操、競技、武道
職業科實習	農業又ハ水産業ヲ職業科トスル學校ノ分 (商業又ハ工業ヲ職業科トスル學校ノ分)	農業又ハ水産業ヲ職業科トスル學校ノ分 (商業又ハ工業ヲ職業科トスル學校ノ分)
計	二五〇 (三五〇)	二五〇 (三五〇)

教授及訓練科目	一箇年教授及訓練時數				
	一年	二年	三年	四年	五年
教授及訓練課程	國民道德要旨、公民心得	國民道德要旨、公民心得	國民道德要旨、公民心得	國民道德要旨、公民心得	國民道德要旨、公民心得
修身及公民科	國民道德要旨、公民心得	國民道德要旨、公民心得	國民道德要旨、公民心得	國民道德要旨、公民心得	國民道德要旨、公民心得
普通學科	國語、歷史、地理、數學、理科、音樂	國語、歷史、地理、數學、理科、音樂	國語、歷史、地理、數學、理科、音樂	國語、歷史、地理、數學、理科、音樂	國語、歷史、地理、數學、理科、音樂
職業科	地方農(工)(商)(水産)業ニ適切ナル事項	地方農(工)(商)(水産)業ニ適切ナル事項	地方農(工)(商)(水産)業ニ適切ナル事項	地方農(工)(商)(水産)業ニ適切ナル事項	地方農(工)(商)(水産)業ニ適切ナル事項
教練科	教練、體操、競技、武道	教練、體操、競技、武道	教練、體操、競技、武道	教練、體操、競技、武道	教練、體操、競技、武道
職業科實習	農業又ハ水産業ヲ職業科トスル學校ノ分 (商業又ハ工業ヲ職業科トスル學校ノ分)	農業又ハ水産業ヲ職業科トスル學校ノ分 (商業又ハ工業ヲ職業科トスル學校ノ分)	農業又ハ水産業ヲ職業科トスル學校ノ分 (商業又ハ工業ヲ職業科トスル學校ノ分)	農業又ハ水産業ヲ職業科トスル學校ノ分 (商業又ハ工業ヲ職業科トスル學校ノ分)	農業又ハ水産業ヲ職業科トスル學校ノ分 (商業又ハ工業ヲ職業科トスル學校ノ分)
計	八〇	八〇	八〇	八〇	八〇

研究科		教授及訓練科目	教授及訓練時數	一箇年教授及訓練時數
普通科	教授及訓練科目	教授及訓練時數	一箇年教授及訓練時數	
	修身及公民科	國民道德要旨、公民心得	三〇	
	職業科	地方產業ニ適切ナル事項	九〇	
	教練科	教練、體操、競技、武道	八〇	
	職業科實習		不定時	
計			二〇〇	
(二) 女子青年學校教授及課程表				
普通科	教授及訓練科目	教授及訓練課程	第一箇年教授及訓練時數	第二箇年
	修身及公民科	國民道德要旨、公民心得、作法	三〇	三〇
	普通學科	國語、歷史、地理、數學、理科、音樂	一〇〇	一〇〇
	職業科	農(工)(商)(水産)業中必要ナル基礎の事項	一三〇	一三〇
	家事及裁縫科	家事大要、通常衣服ノ裁方、縫方、繕方	一三〇	一三〇

本科		教授及訓練課程	第一箇年教授及訓練時數	第二箇年	第三箇年	
體操科	體操科	體操、遊戲、競技	四〇		四〇	
	職業科實習		不定時		不定時	
	計		三〇〇	三〇〇	三〇〇	
	本 科	教授及訓練科目	教授及訓練課程	第一箇年教授及訓練時數	第二箇年	第三箇年
		修身及公民科	國民道德ノ要旨、公民心得、作法	三〇	三〇	三〇
普通學科		國語、歷史、地理、數學、理科、音樂	六〇	六〇	六〇	
職業科		農業、商業、工業、水産業中適切ナル事項	一七〇	一七〇	一七〇	
家事及裁縫科		家生活上必要ナル事項 通常衣類ノ裁方、縫方、繕方、手藝	四〇	四〇	四〇	
體操科	體操、遊戲、競技	四〇	四〇	四〇		
職業科實習		不定時	不定時	不定時		
計			三〇〇	三〇〇	三〇〇	

教授及訓練科目	教授及訓練課程	一箇年教授及訓練時數
修身及公民科	國民道德ノ要旨、公民心得、作法	三〇
普通學科	國語、歷史、地理、理科、數學中須要ナル事項	二三〇
職業科	地方產業ニ適切ナル事項	四〇
家事及裁縫科	地方家事ト須要ナル事項 地方裁縫手藝ト須要ナル事項	
體操科	體操、遊戲、競技	不定時
職業科實習		三〇〇
計		

(第一號樣式) 青年學校適齡簿

氏名	生年 月日	本籍地	現居 住所	職業	親權者 ハ	戶主及戶主トノ續柄	氏名	現居 住所	職業	見備者 ノ關係	滿 了

入學年月日	年	月	日	修了又ハ 卒業	年	月	日	普通科	年	月	日	本籍地	現居 住所	職業	親權者 ハ	戶主及戶主トノ續柄	氏名	現居 住所	職業	見備者 ノ關係	滿 了

入學年月日 年 月 日

修了又ハ 卒業 年 月 日

普通科 年 月 日

研究科 年 月 日

微兵適齡期 年 月 日

入學スベキ 年 月 日

入學セザル 年 月 日

事由

退學 年 月 日

中途 年 月 日

學業

其ノ他

青年學校學則標準

鳥取縣何郡(市)何町村(何)青年學校學則

第一章 總則

- 第一條 本項ハ青年學校令ニ據リ男女青年ニ對シ其ノ心身ヲ鍛練シ德性ヲ涵養スルト共ニ職業及實際生活ニ須要ナル智識技能ヲ授ケ以テ國民タルノ資質ヲ向上セシムルヲ以テ目的トス
- 第二條 本校ハ鳥取縣何郡(市)何町村(何)青年學校ト稱シ鳥取縣何郡(市)何小學校ニ併

置ス

(注意) 單獨設置ノ場合ハ本條後段ヲ鳥取縣何郡(市)何町(村)大字何番地ニ設置ストスルコト

第二章 編制修業年限

第三條 本校ニ男子部、女子部ヲ置ク

各部ノ課程ヲ分テテ普通科、本科、研究科トス

前項ノ外特別ノ事項ヲ修得セシムル爲專修科ヲ置ク

第四條 本校ノ修業年限ヲ定ムルコト左ノ如シ

男子部 普通科 二年

本科 五年

研究科 一年

女子部 普通科 三年

本科 二年

研究科 一年

專修科 三月乃至一年

第三章 學年學期教授及訓練時數

第五條 學年ハ毎年四月一日ニ始マリ翌年三月三十一日ニ終ル

學年ヲ分テテ左ノ三學期トス

第一學期 四月一日ヨリ八月三十一日迄

第二學期 九月一日ヨリ十二月三十一日迄

第三學期 一月一日ヨリ三月三十一日迄

第六條 各月教授及訓練日時數、教授及訓練日及時刻ヲ左表ノ通定ム但シ教授及訓練日、時刻ハ業務ノ狀態其ノ他特別ノ事由ニ由リ學校長ニ於テ之ヲ變更スルコトアルベシ

(注意) 左表ハ場合ニ依リ男子部女子部別ニ表示スルコト

本科ニアリテモ年次ニヨリテ異ナル場合ニハ之ヲモ表示スルエト

月	普通科	本科	研究科	專修科
四	教授及訓練日時數	教授及訓練日時數	教授及訓練日時數	教授及訓練日時數
五	教授及訓練日時數	教授及訓練日時數	教授及訓練日時數	教授及訓練日時數
六	教授及訓練日時數	教授及訓練日時數	教授及訓練日時數	教授及訓練日時數
七	教授及訓練日時數	教授及訓練日時數	教授及訓練日時數	教授及訓練日時數
八	教授及訓練日時數	教授及訓練日時數	教授及訓練日時數	教授及訓練日時數
九	教授及訓練日時數	教授及訓練日時數	教授及訓練日時數	教授及訓練日時數
十	教授及訓練日時數	教授及訓練日時數	教授及訓練日時數	教授及訓練日時數
十一	教授及訓練日時數	教授及訓練日時數	教授及訓練日時數	教授及訓練日時數
十二	教授及訓練日時數	教授及訓練日時數	教授及訓練日時數	教授及訓練日時數

計									
一									
二									
三									

第四章 休業日

- 第七條 休業日ヲ定ムルコト左ノ如シ
- 一 一月一日及昭和二年勅令第二十五號依リ休日タル祭日祝日
 - 一 氏神祭日
 - 一 何々

第五章 教授及訓練科目及其ノ時數

- 第八條 教授及訓練科目ヲ次ノ通定ム
- 男子部
 - 普通科 修身及公民科、普通學科、職業科、體操科
 - 本科 修身及公民科、普通學科、職業科、教練科
 - 研究科 修身及公民科、職業科、教練科
 - 女子部
 - 普通科 修身及公民科、普通學科、職業科、家事及裁縫科、體操科
 - 本科 修身及公民科、普通學科、職業科、家事及裁縫科、體操科
 - 研究科 修身及公民科、普通學科、職業科、家事及裁縫科、體操科
 - 專修科 修身及公民科、(專修項目名)

第九條 各教授及訓練課程及一年間ノ教授及訓練時數ヲ定ムルコト左ノ如シ
(注意) 青年學校施設要綱別表ヲ參考トシテ男女別ニ表示スルコト

第六章 入學、退學、轉學、委託

- 第十條 生徒ノ入學ハ每學年ノ始メトス但シ場合ニ依リ臨時入學ヲ許スコトアルベシ
- 第十一條 普通科及本科ノ第一年ニ入學スルコトヲ得ル者ノ年齢ハ其ノ年三月三十一日ニ於テ普通科ニ在リテハ十二年以上、本科ニ在リテハ十四年以上トス
- 研究科ニ入學スルコトヲ得ル者ハ本科卒業者又ハ之ニ相當スル素養アルモノトス
- 第十二條 普通科第二年並本科及研究科第二年以上ノ入學ニ關シテハ年齢ヲ基準トシ其ノ素養ヲ斟酌シテ相當年ニ編入スルヲ常例トス
- 第十三條 本校ニ入學セントスル者ハ親權者、後見人又ハ雇傭者連署ノ上第四號様式ニ依ル入學願書ヲ學校長ニ差出スベシ
- 第十四條 本校ヲ中途退學セントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ親權者、後見人又ハ雇傭者連署ノ上學校長ニ願出ヅベシ
- 第十五條 本校ニ轉學セントスル者ハ第十三條ノ規程ニ準ジ願書ヲ差出スベシ
- 第十六條 生徒ニシテ生業其ノ他已ムヲ得ザル事由ニ由リ他ノ一定地方ニ概ネ一月以上三月迄ノ期間ニ互リ滯留セントスル者アルトキハ本人ノ志望ニ依リ滯留地ノ青年學學長ニ對シ當該生徒ノ教授訓練ヲ委託ス

第七章 修了及卒業

第十七條 普通科、研究科ノ修了及本科ノ卒業ハ全課程ニ就キ出席時數其ノ他平素ノ學修情況ヲ
考查シ學校長之ヲ認定ス

第十八條 普通科及研究科ノ修了者ニハ修了證(第一號様式)ヲ本科ノ卒業者ニハ卒業證(第二
號様式)ヲ專修科ノ履修者ニハ修了證(第三號様式)ヲ授與ス

第八章 賞 罰

第十九條 學校長ハ操行善良學業優秀精勤ナル生徒ニ對シ褒賞スルコトアルベシ
第二十條 學校長ハ生徒ニシテ其ノ本分ニ悖リ不都合ノ行爲アリタルトキハ之ヲ罰スルコトアル
ベシ

第九章 授 業 料

第二十一條 授業料ハ之ヲ徴收セズ

附 則

本學則ハ昭和何年何月何日ヨリ之ヲ施行ス

第一號様式

第二號様式

第 號

修 了 證

氏 名
年 月 日 生

右者本校普通科ノ課程ヲ修了シタルコ
(研究科)
トヲ證ス

校 年 月 日
印

鳥取縣何郡(市)
何町村(何)青年學校長位勳氏名

印

校長名迄ヲ一列トスルコト

第 號

卒 業 證

氏 名
年 月 日 生

右者本校本科ノ課程ヲ卒業シタルコト
ヲ證ス

校 年 月 日
印

鳥取縣何郡(市)
何町村(何)青年學校長位勳氏名

印

第三號 様式

第 號 修 丁 證

一 專修項目 自 年 月 日 至 年 月 日

一 專修期間

右者本校專修科ニ於テ頭書ノ項田ヲ履修セシ
コトヲ證ス

鳥取縣何郡(市) 年 月 日 校 印

何町村(何)青年學校長 位勳氏名

第四號様式

入 學 願

私儀貴青年學校ニ入學致度候ニ付御許可下サレ度入學ノ上ハ御規則堅ク相守リ申ス可ク別紙履歷書
相添へ此段御願候也

年 月 日

住 所

住所 (親權者、後見人又ハ雇傭者) 氏 名

名 氏 印

鳥取縣何郡(市) 何町村(何) 青年學校長 氏 名 殿

第五號様式

履 歷 書

本籍

現住所

戸主名及戸主トノ續柄

職 業 氏

年 月 日 生 名

學 歷、 業 務

一 何年何月何日 何々小學校尋常科卒業

一 何年何月何日 何々青年學校普通科修了

一 何年何月何日 何々商店ニ店員トナル

青年團體トノ關係

一 何年何月何日 何々青年團(處女會)ニ入團(會)

賞 罰

一 何年月何日 何々ニ付賞又ハ罰

右之通相違之無候也

年 月 日

◇鳥取縣訓令甲第十二號

市 町 村 氏 名 印
青 年 學 校 校 長

青年學校旗取扱規則左ノ通定ム

昭和十年六月二十一日

鳥取縣知事

中 谷

秀

青年學校旗取扱規則

第一條 青年學校旗ハ青年學校精神ヲ表徴スルモノナレバ教授及訓練指導ノ中心ト仰ギ常ニ尊崇ノ念ヲ以テ之ニ接スベシ

第二條 青年學校旗ハ儀式又ハ其ノ學校ヲ表現スル場合之ヲ樹ツルモノトス

第三條 青年學校長ハ生徒一名ヲ選拔シ旗手ヲ命ジ之ヲ捧持セシム

第四條 青年學校旗ニ對シ儀禮ヲ行フトキハ之ヲ隊列又ハ式場ノ中央前ニ誘導シ一同捧銃又ハ最敬

禮ヲ爲スヲ例トス

第五條 青年學校旗ニ敬禮ヲ爲スハ

天皇、皇族、軍旗、靈柩、貴顯其ノ他公務上臨場シタル長上ニ對スルトキ並拜神遙拜勅語又ハ
令旨奉讀式等ノ場合トス

第六條 青年學校旗ノ捧持及禮式左ノ如シ

(イ) 青年學校旗ヲ捧持スルニハ旗鐵ヲ右股ニ當テ右肘ヲ後ニシ其ノ拳ヲ肩ノ高サニシ旗頭ヲ僅ニ前方ニ傾カシム

(ロ) 敬禮ノ爲ニハ右手ヲ旗頭ニ沿ヒテ眼ノ高サニ上ゲ旗鐵ヲ右股ヨリ離スコトナク右手ヲ充分前ニ伸バシ旗ヲ垂ル

(ハ) 旗手ノ敬禮動作(目迎目送又ハ注目)ハ青年學校旗ノ敬禮ヲナストキニ限り之ニ伴フ
青年學校旗ノ定位置概ネ左ノ如シ

第七條 一般整列ノトキ

(イ) 青年學校長ノ左側(學校長ハ隊列ノ右翼ニ列ス)

(ロ) 拜神、遙拜、奉讀式等ノトキ

(ハ) 隊列中央學校長ノ後方

(ニ) 行軍又ハ遠足ノトキ

(イ) 隊列ノ先頭

(ロ) 數校合同ノトキ

(ハ) 其ノ都度適宜定ム

第八條 青年學校旗ニ關係アル記念綬類ハ必要ニ應ジ之ヲ竿頭ニ附著スルコトヲ得
附 則

第九條 本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第十條 鳥取縣青年學校旗制ニ依ル制式ト異ルモノト雖當分ノ間之ヲ用フルコトヲ得

第十一條 昭和九年八月鳥取縣訓令甲第十三號鳥取縣青年訓練所旗取扱規則ハ之ヲ廢止ス

◆鳥取縣訓令甲第十三號

師範學校長

公立中學校長

公立高等女學校長

公立實業學校長

公立青年學校長

青年學校教員養成所長

大正二年十月鳥取縣訓令第四十四號公立學校處務規程中左ノ通改正シ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十年六月二十一日

鳥取縣知事 中谷 秀

第一條中「及實業補習學校教員養成所」ヲ「青年學校及青年學校教員養成所」ニ改ム

第二十四條第一項第八號中「實業補習學校教員養成所生徒」ヲ「青年學校教員養成所生徒」ニ改ム

第二項中「實業補習學校長」ヲ「青年學校長」ニ改ム

第二十九條中「實業補習學校長」ヲ「青年學校長」ニ改ム

◆鳥取縣訓令甲第十四號

市 校長
學校長

大正十年三月鳥取縣訓令第五號公立學校職員年功加俸支給細則中左ノ通改正シ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十年六月二十一日

鳥取縣知事 中谷 秀

第一號樣式中「實業補習學校」ヲ「青年學校」ニ改ム

◆鳥取縣訓令甲第十五號

市 町 村 長
學 校 長
學 校 長
學 校 長
醫 長

大正十一年十月鳥取縣訓令甲第二十號學校職務規程細則中左ノ通改正シ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十年六月二十一日

鳥取縣知事 中谷 秀

第八條ノ二中「及青年訓練所醫」ヲ削ル

◆鳥取縣訓令甲第十六號

市 町 村 長

青年學校長
小學校長
昭和五年十一月鳥取縣訓令甲第十六號實業補習教育施設要項ハ之ヲ廢止ス
昭和十年六月二十一日

鳥取縣知事 中谷 秀

◇鳥取縣訓令甲第十七號

市町村長
小學校長
公立青年學校長

昭和三年四月鳥取縣訓令甲第十二號公立實業補習學校兼任教員解職ニ關スル規程ハ之ヲ廢止ス
昭和十年六月二十一日

鳥取縣知事 中谷 秀

◇鳥取縣訓令甲第十八號

市町村長
學校長

公立青年學校ノ職員任命ニ關スル辭令式左ノ通之ヲ定ム

昭和十年六月二十一日 鳥取縣知事 中谷 秀

公立青年學校ノ職員任命ニ關スル辭令式

一 新任又ハ轉任ノ職記式並補職辭令式 官職位勳功爵 何 某

鳥取縣公立青年學校長(教諭、助教諭、書記等)ニ任ス 何級俸給與 鳥取縣公立青年學校長(教諭、助教諭、書記等) 何 某

一 何青年學校(各當該學校名ヲ記スルコト)長(教諭、助教諭、書記等)ニ補ス 兼任職記式並補職辭令式 鳥取縣公立小學校訓導 何 某

【兼鳥取縣公立小學校長】 位勳功爵 何 某

鳥取縣公立青年學校長(教諭、助教諭、書記等)ニ兼任ス 鳥取縣公立青年學校長(教諭、助教諭、書記等) 何 某

何青年學校(各當該學校名ヲ記スルコト)長(教諭、助教諭、書記等)ニ補ス 年手當何圓給與

一 轉補辭令式 專任者ノ場合 鳥取縣公立青年學校長(教諭、助教諭、書記等) 何 某

何青年學校 (各當該學校名ヲ記スルコト) 長 (教諭、助教諭、書記等) ニ補ス
(二) 兼任者ノ場合

鳥取縣公立小學校訓導

【兼鳥取縣公立小學校長】

(兼) 鳥取縣公立青年學校長 何

(兼) 教諭、助教諭、書記等

某

兼何青年學校 (各當該學校名ヲ記スルコト) 長 (教諭、助教諭、書記等ニ補ス
年手當何圓給與

退職ノ辭令式

(一) 專任者ノ場合

鳥取縣公立青年學校長 何

(教諭、助教諭、書記等)

某

願ニ依リ本職ヲ免ス

(二) 兼任者ノ場合

鳥取縣公立小學校訓導

兼鳥取縣公立小學校長

(兼) 鳥取縣公立青年學校長 何

(兼) 教諭、助教諭、書記等

某

【(願ニ依リ)兼職ヲ免ス】

休職ノ辭令式

一

鳥取縣公立青年學校長 何

(教諭、助教諭、書記等)

某

公立學校職員分限令第八條第一項第何號ニ依リ休職ヲ命ス

一 囑託ノ辭令式

(一) 囑託ノ場合

何

某

何青年學校指導員 (講師、學校醫等) ヲ囑託ス

年手當何圓給與

(二) 解囑ノ場合

何青年學校指導員 (講師、學校醫等) 何

某

(願ニ依リ) 囑託ヲ解ク

◆鳥取縣訓令甲第十九號

總務部	經濟部	學務部	警察部	知事官房	警察署
長	長	長	長	主事	長

大正九年六月鳥取縣訓令第三十九號國庫支辨ニ係ル内國旅費減額及支給規程中左ノ通改正シ昭和十年

六月十日以降旅行ノ者ヨリ之ヲ適用ス

昭和十年六月二十一日

鳥取縣知事

中

谷

秀

第七條 選舉肅正委員會職員ノ旅費ハ別表第五號ニ依リ支給ス但シ他官廳ノ官吏ニ付テハ其ノ官等級ニ依リ別表第六號ニ依ル

第十一條中 内國旅費規則ノ次ニ「諸調査會等ノ職員旅費支給規則」ノ十四字ヲ挿入ス

別表第五號

區別	車馬賃	日當	宿泊料	食卓料	鐵道賃及船賃
縣外	七十五錢	四圓二十五錢	六圓八十錢	二圓二十五錢	内國旅費規則ノ定ムル所ニ從ヒ高等官ノ例ニ依ル
縣内	七十五錢	三圓五十錢	四圓三十五錢	二圓二十五錢	右ニ同ジ

別表第六號

區別	車馬賃	日當	宿泊料	食卓料	鐵道賃及船賃
縣外	七十五錢	四圓二十五錢	六圓八十錢	二圓二十五錢	内國旅費規則ノ定ムル所ニ從ヒ高等官ノ例ニ依ル
縣内	七十五錢	三圓五十錢	四圓三十五錢	二圓二十五錢	右ニ同ジ

委任官 五等以上ノ者	外縣		内縣		内國旅費規則ノ定ムル所ニ從ヒ高等官ノ例ニ依ル
	外縣	内縣	外縣	内縣	
同上	七十五錢	七十五錢	四圓二十五錢	四圓二十五錢	右ニ同ジ
六等以下ノ者	七十五錢	七十五錢	五圓九十五錢	五圓九十五錢	

告示

鳥取縣告示第三百十二號
青年學校ニ使用スル印章ノ大サヲ左ノ通定ム

昭和十年六月二十一日

鳥取縣知事

中

谷

秀

校長印

文書用校印

證書用校印

耗十二方

耗十三方

耗五十四方

備考 證書用校印ヲ以テ文書用ニ兼ヌル場合ハ文書用校印ヲ省クコトヲ得

◆鳥取縣告示第三百十三號

鳥取縣青年學校旗制左ノ通定ム

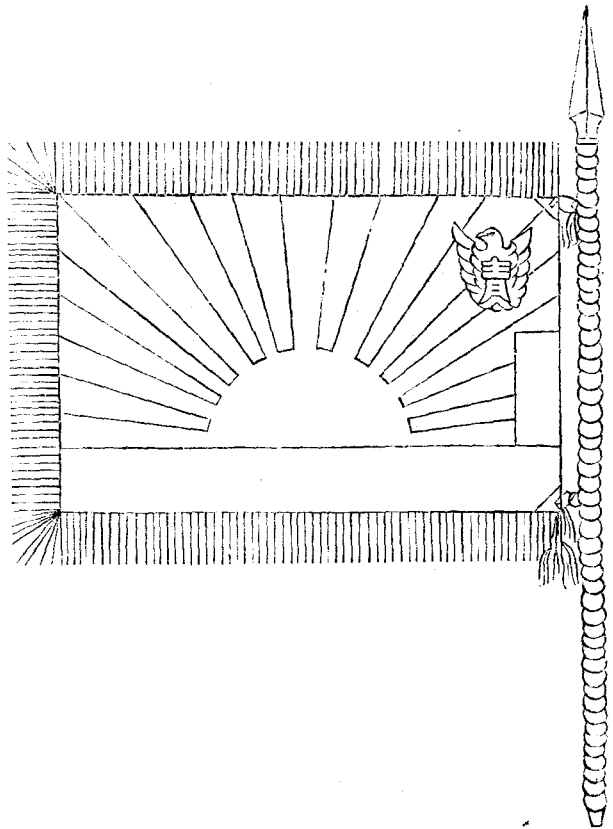
昭和九年八月鳥取縣告示第四百二十七號ハ之ヲ廢止ス

昭和十年六月二十一日

鳥取縣知事 中 谷 秀

鳥取縣青年學校旗制

一制式圖



二制式

大サ 幅 六三センチ 流 一〇〇センチ
地色 白無地
地質 鹽瀬

構圖

日章及光線
日章下方色

紅色
濃綠色

徽章

線一黑色、應地一黃色、「青」字一白色

青年學校名表示

正面右下白地拔、文字ハ黒ニテ「鳥取縣何郡(市)何町村

(何)青年學校」ト記ス

平織金線

總及緒
金色絲繩目綯

旗竿
樫千段卷黒本塗長二米

旗頭
金屬製三方正面鎗型

旗
金屬製

三 青年學校旗取扱ニ關スル規程ハ別ニ之ヲ定ム

◆鳥取縣告示第三百十四號

青年學校並青年團標準服制左ノ通之ヲ定ム

昭和八年一月鳥取縣告示第十三號青年訓練所並青年團標準服制ハ之ヲ廢止ス

昭和十年六月二十一日

鳥取縣知事

中

谷

秀

青年學校並青年團標準服制

子		帽		總	區		
類	前	徽	型	地	分		
紐	庇	章	式	質	摘		
右同	黑色エナメル塗布	金屬製金色トス	<p>一 青年學校生徒及青年團員ハ青年型トシ其ノ他ノ者ハ正型トス</p> <p>二 鈔卷ニハ左ノ區分ニ依リ青茶色杉織帶線ヲ附ス</p> <p>三 青年學校教職員、設置者、郡市聯合青年團幹部</p> <p>四 青年學校生徒、市町村青年團役員及團員</p> <p>帶線大ハ一五耗、小ハ三耗ヲ幅トス</p> <p>線一筋ヲ附スル場合ハ下部ニ附ス</p>	<p>一 青年學校男子部並青年團ノ服制ノ統一ヲ期スルモノトス</p> <p>二 但シ青年學校教職員ニシテ軍服ヲ用フル場合及女教員ヲ除ク</p> <p>三 改正ハ漸進主義トス</p> <p>四 衣袴ハ同色同質夏冬共通トス</p> <p>色ハ青茶色トス</p>	<p>衣袴ト同質ノ青茶色雲齋トシ防水ヲ施ス但シ幹部ハ絨地ヲ使用スルコトヲ得</p>	<p>要</p>	<p>備考</p>
		第二圖參照	第一圖參照				

襟		袖	
品質	型式	地質	型式
<p>所屬名襟章ハ青色羅紗楕圓形臺地ニ白文字縫込トス但シ幹部ハ銀茶色臺地ニ黃文字縫込トス 青年學校生徒ノ科及年ノ徽章ハ金屬製金色トス</p> <p>一 青年學校又ハ青年團ノ所屬名章ハ其ノ名稱中二字又ハ三字ヲ以テ表ハス 縣都市聯合青年團幹部ハ其ノ縣都市名ヲ表ス 所屬名稱ハ左襟ニ附ス 青年學校生徒普通科ハ「普」本科ハ「本」研究科ハ「研」專修科ハ「專」ノ字ヲ以テ其ノ科ヲ「ア」「ヒヤ」數字ヲ以テ年ヲ表シタル徽章ヲ右襟ニ附ス 市町村長ハ市町村吏員章ヲ其ノ他ノ幹部ニシテ徽章ノ定ナキモノハ經二〇耗ノ櫻章(中央ニ青ノ字打出ノモノ)、青年團員ハ徑一〇耗ノ櫻章ヲ右襟ニ附ス</p>	<p>一 袖口ヨリ一〇釐ノ位置ヲ最下位トシ左ノ區分ニ依リ兩腕ニ帶線ヲ附ス</p> <p>知事、縣青年團總裁 學務部長、縣青年團團長 社會課長、縣青年團副團長 縣青年學校關係職員、縣青年團役員 青年學校教職員、青年學校設置者、郡市聯合青年團役員</p> <p>大一筋 小一筋 大二筋 小二筋 大三筋 小三筋</p>	<p>青茶色雲齊トス但シ幹部ハセル地ヲ使用スルコトヲ得</p> <p>一 立折襟式トス但シ幹部ハ折襟トス 二 ボケツトハ左右上下ニ附シ縫附式トシヒダヲ附シ蓋附トス 三 帶劍者ハ左脇下ニ劍釣ヲ附シ帶刀者ハ左脇下ヲ裾ヨリ適當ニ割ルコトヲ得</p>	<p>一 前面一列ニシテ五箇左右上下ボケツトニ各一箇(幹部ハ前面一列四箇(折襟)胸ボケツトニ各二箇)ヲ附シ圓形無地金屬製金色トス 二 袖ノ飾釦ハ徑一〇釐ノ金屬金色又ハ金モールトシ櫻章ヲ用ヒ左ノ區分ニ依ル 青年學校長、青年團長 其他ノ青年學校教職員、青年團副團長 青年團其他ノ役員</p> <p>一箇 二箇 三箇</p>
<p>バンド 金具ノ模様ハ若鷹ニ櫻花ヲ配シ青ノ字ノ浮刻トス</p> <p>上衣ニ同ジ</p>	<p>一 長袴式トシ成ルベク寬クスルコト 二 尾錠打紐任意トス</p>	<p>ボケツト</p> <p>左右ニ附シ別ニ時計袋ヲ附ス</p>	<p>第三圖參照</p>

袴		腕	
品質	型式	地質	型式
<p>所屬名襟章ハ青色羅紗楕圓形臺地ニ白文字縫込トス但シ幹部ハ銀茶色臺地ニ黃文字縫込トス 青年學校生徒ノ科及年ノ徽章ハ金屬製金色トス</p> <p>一 青年學校又ハ青年團ノ所屬名章ハ其ノ名稱中二字又ハ三字ヲ以テ表ハス 縣都市聯合青年團幹部ハ其ノ縣都市名ヲ表ス 所屬名稱ハ左襟ニ附ス 青年學校生徒普通科ハ「普」本科ハ「本」研究科ハ「研」專修科ハ「專」ノ字ヲ以テ其ノ科ヲ「ア」「ヒヤ」數字ヲ以テ年ヲ表シタル徽章ヲ右襟ニ附ス 市町村長ハ市町村吏員章ヲ其ノ他ノ幹部ニシテ徽章ノ定ナキモノハ經二〇耗ノ櫻章(中央ニ青ノ字打出ノモノ)、青年團員ハ徑一〇耗ノ櫻章ヲ右襟ニ附ス</p>	<p>一 袖口ヨリ一〇釐ノ位置ヲ最下位トシ左ノ區分ニ依リ兩腕ニ帶線ヲ附ス</p> <p>知事、縣青年團總裁 學務部長、縣青年團團長 社會課長、縣青年團副團長 縣青年學校關係職員、縣青年團役員 青年學校教職員、青年學校設置者、郡市聯合青年團役員</p> <p>大一筋 小一筋 大二筋 小二筋 大三筋 小三筋</p>	<p>青茶色衫織トス</p>	<p>一 袖口ヨリ一〇釐ノ位置ヲ最下位トシ左ノ區分ニ依リ兩腕ニ帶線ヲ附ス</p> <p>知事、縣青年團總裁 學務部長、縣青年團團長 社會課長、縣青年團副團長 縣青年學校關係職員、縣青年團役員 青年學校教職員、青年學校設置者、郡市聯合青年團役員</p> <p>大一筋 小一筋 大二筋 小二筋 大三筋 小三筋</p>
<p>バンド 金具ノ模様ハ若鷹ニ櫻花ヲ配シ青ノ字ノ浮刻トス</p> <p>上衣ニ同ジ</p>	<p>一 長袴式トシ成ルベク寬クスルコト 二 尾錠打紐任意トス</p>	<p>ボケツト</p> <p>左右ニ附シ別ニ時計袋ヲ附ス</p>	<p>第八圖參照</p>

三 大小兩線ヲ附スル場合ハ小ヲ上部ニ附ス
 四 縣名表示ノ必要アル場合ハ赤地布ニ白字ヲ以テ縣名及團體名ヲ表ハンシタルモノヲ用キ左腕ニ附スルモノトス
 其 他 一 表彰徽章ハ左乳下ニ佩用シ精勤章其ノ他青年學校又ハ青年團ニ於テ獎勵ノ爲交付セル徽章ハ之ヲ右脇ニ附スルモノトス

◆鳥取縣告示第三百十五號

大正十五年六月鳥取縣告示第百五十六號青年訓練所規則準則ハ之ヲ廢止ス
 昭和十年六月二十一日

鳥取縣知事 中 谷 秀

◆鳥取縣告示第三百十六號

岩美郡宇倍野村消防組第八部ノ組織ヲ變更シ組員數ヲ左ノ通定ム
 昭和十年六月二十一日

鳥取縣知事 中 谷 秀
 一 組員ノ數

部 名	小 頭	消 防 手
第 八 部	一	三 九

鳥取縣告示第三百十七號

昭和十年五月產婆名簿登錄事項ノ訂正セシ者並同年六月產婆名簿取消ノ登錄セシ者左ノ如シ
 昭和十年六月二十一日

鳥取縣知事 中 谷 秀
 本籍 鳥取縣米子市錦町二丁目八三番地
 住所 上

昭和十年一月一日行政區劃ノ變更ニ依リ本籍住所鳥取縣米子市角盤町三丁目一五一番地ヲ變更ニ付產婆名簿登錄事項訂正方出願ニ對シ昭和十年五月二十八日訂正

大 田 千 枝 子
 本籍 鳥取縣日野郡二部村大字福岡一、九七八番地

住所 同 縣米子市東町九二番地

昭和十年五月二十五日鳥根縣鹿足郡津和野町大字森村口

一〇〇番地五ニ轉住產婆名簿取消ノ登録出願ニ付昭和十

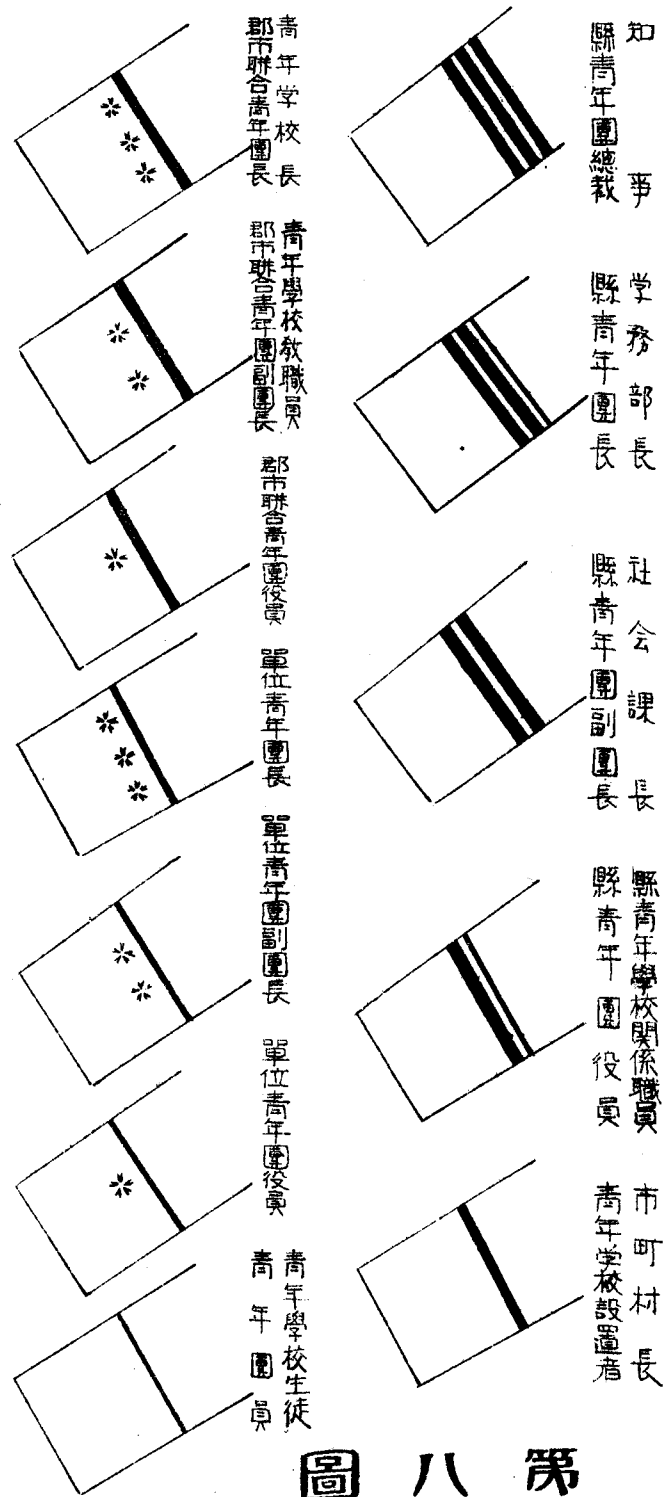
年六月四日取消

山 根 貞 子

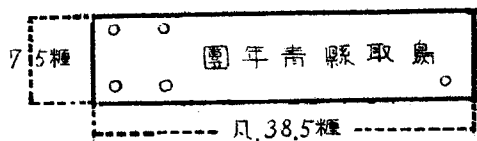
昭和十年六月廿一日印刷
昭和十年六月廿一日發行

發行者 鳥取縣 鳥取市東町 縣
印刷所 鳥取縣氣高郡大正村大字古海 支所

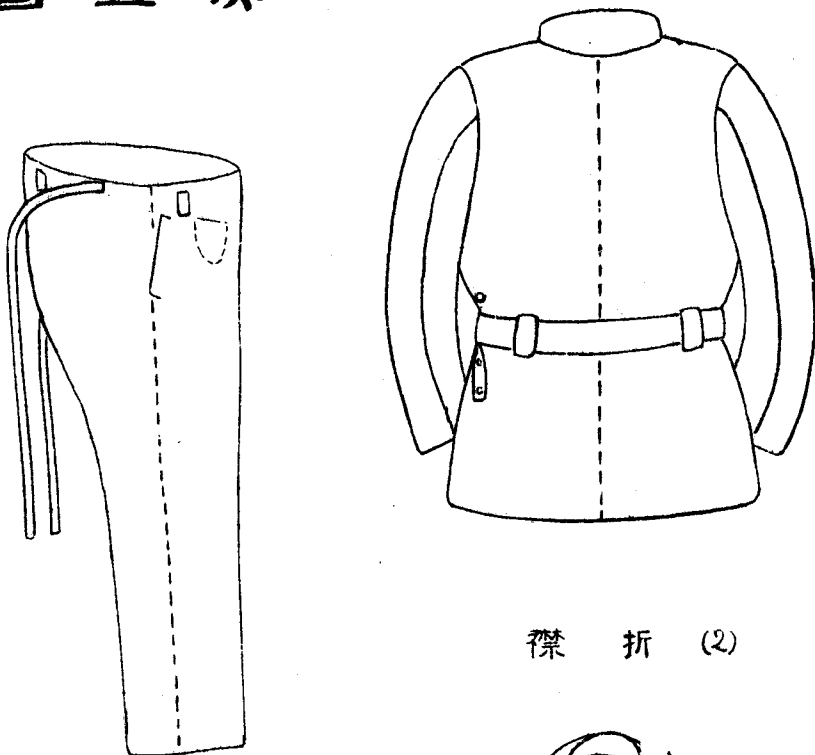
圖七第



圖八第

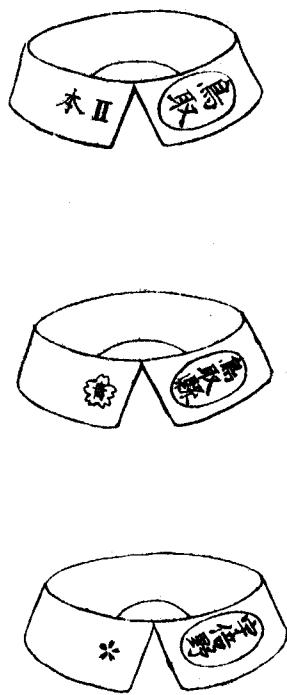


圖五第

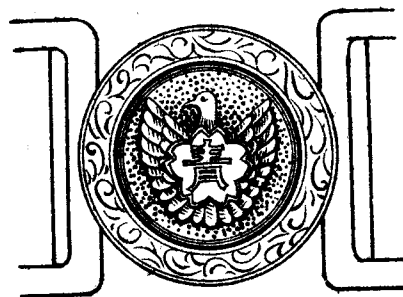
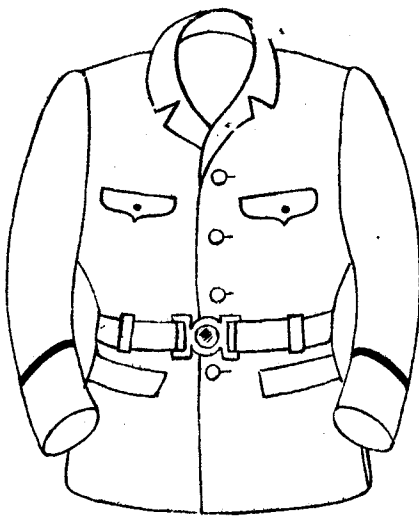


襟折(2)

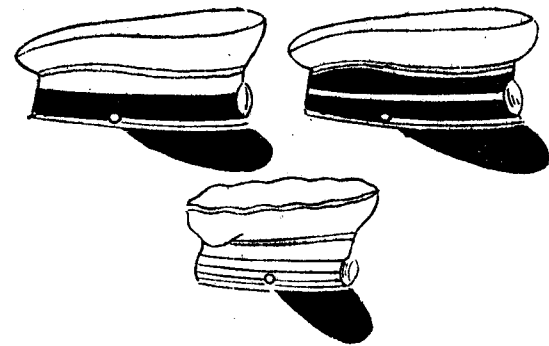
圖六第



圖四第



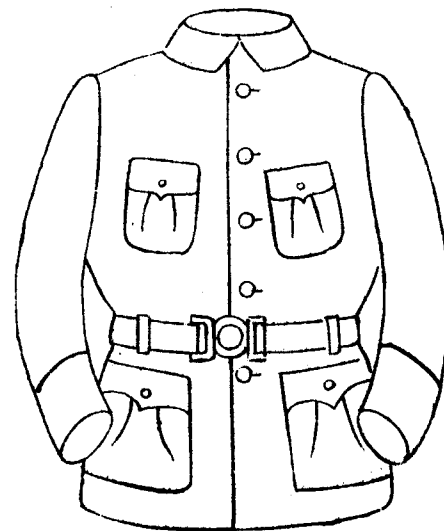
圖一第



圖二第



圖三第



(1) 立折襟